

# 火山活動の活発化から噴火後の避難行動

## 1. 火山活動の活発化

気象庁や町からの火山情報に注視し、噴火警戒レベルに応じた避難行動を本ハザードマップで確認しましょう。



## 2. 噴火警戒レベルの上昇

噴火警戒レベルの上昇に伴い、避難準備や分散避難を検討しましょう。ご家庭に、高齢者や乳幼児などの避難行動要支援者がいらっしゃる場合は、早めの避難行動を心掛けてください。



## 3. 富士山の噴火

噴火した火口が清水町に影響を及ぼすかを気象庁や町からの情報にて確認しましょう。

※清水町まで溶岩流が流れる火口は、8か所です。詳しくは、下記の溶岩流シミュレーションをご確認ください。

## 4. 避難

避難対象エリアに居住されている方は、指定緊急避難場所へ避難しましょう。

※溶岩流の到達は、最短24時間後とされています。該当エリアは、本ハザードマップの地図面をご確認ください。

## 5. 火山灰への対処

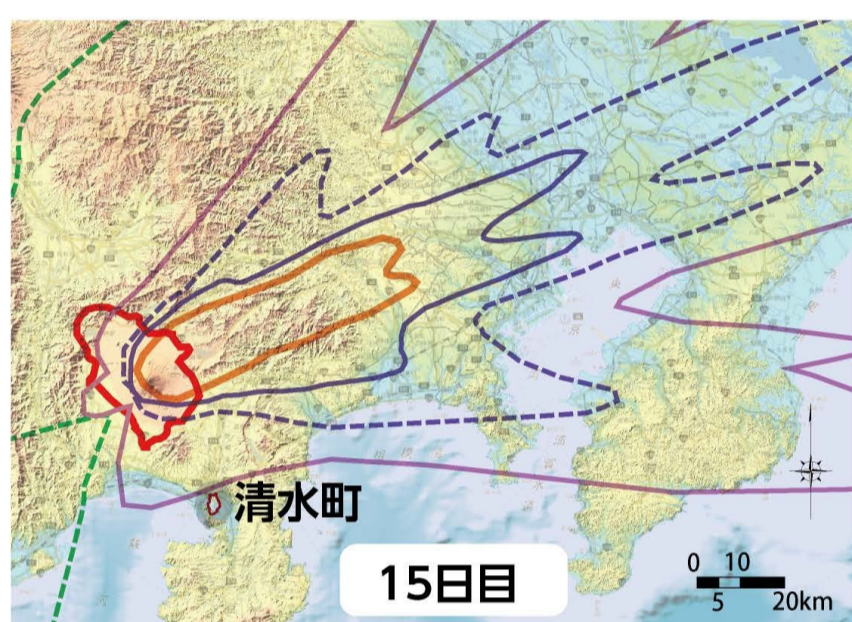
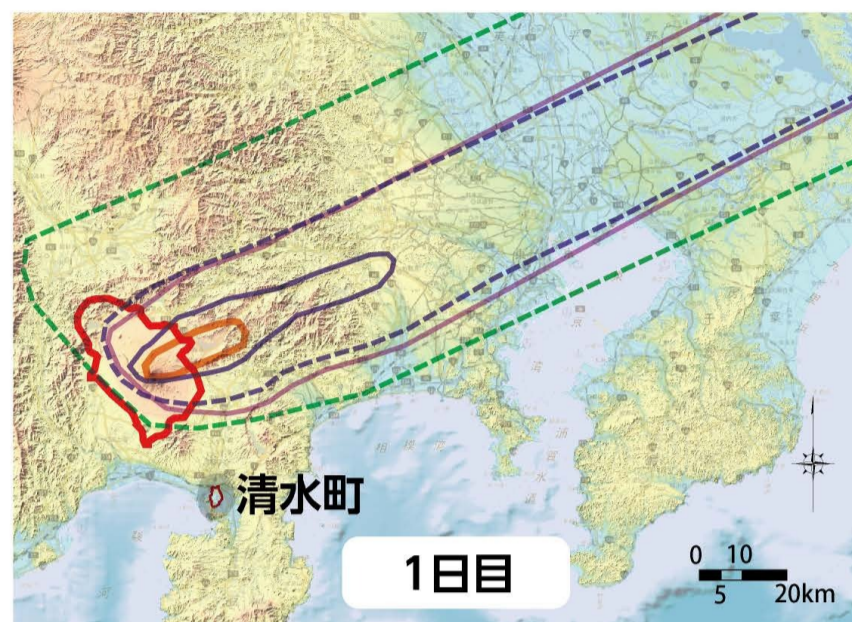
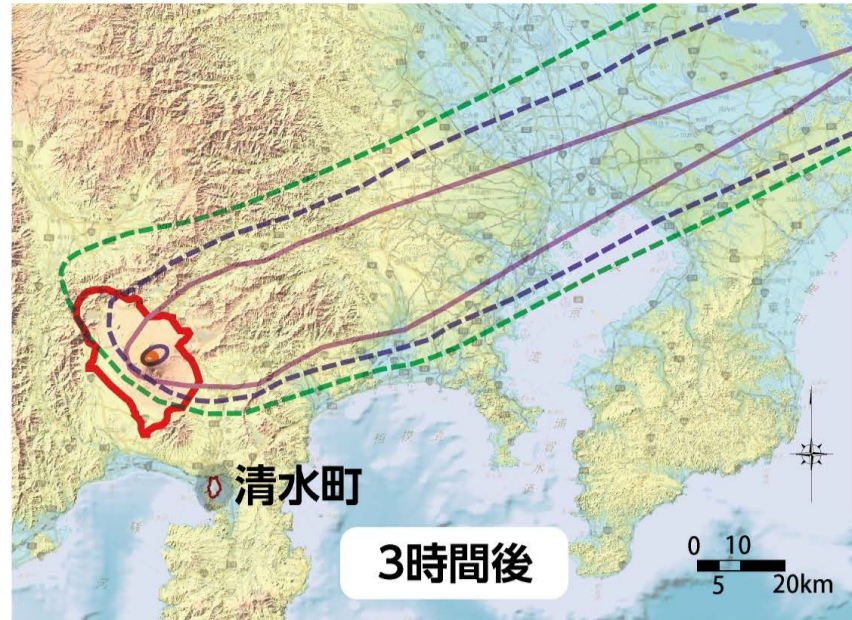
火山噴火後、しばらくの間は、火山灰の降灰が続くことが予想されます。火山灰は、雪と違って自然に無くなることはありません。宅地内に積もった火山灰は、ほうきやちりとりで袋につめてください。処分については町の指示に従ってください。

※降灰の堆積量は、2~10cmと予想されています。



# 大規模噴火時の広域降灰の影響範囲

## 降灰影響シミュレーション



出典：内閣府/防災情報ページ「大規模噴火時の広域降灰対策について-首都圏における降灰の影響と対策-報告書版」

降灰による影響範囲 (降灰深/影響想定)



大きな噴石・火砕流からの避難

(30cm)

木造家屋倒壊の可能性

(10cm) (四輪駆動車通行不可)

(3cm)・視界不良 (二輪駆動車通行不可)

(3mm)

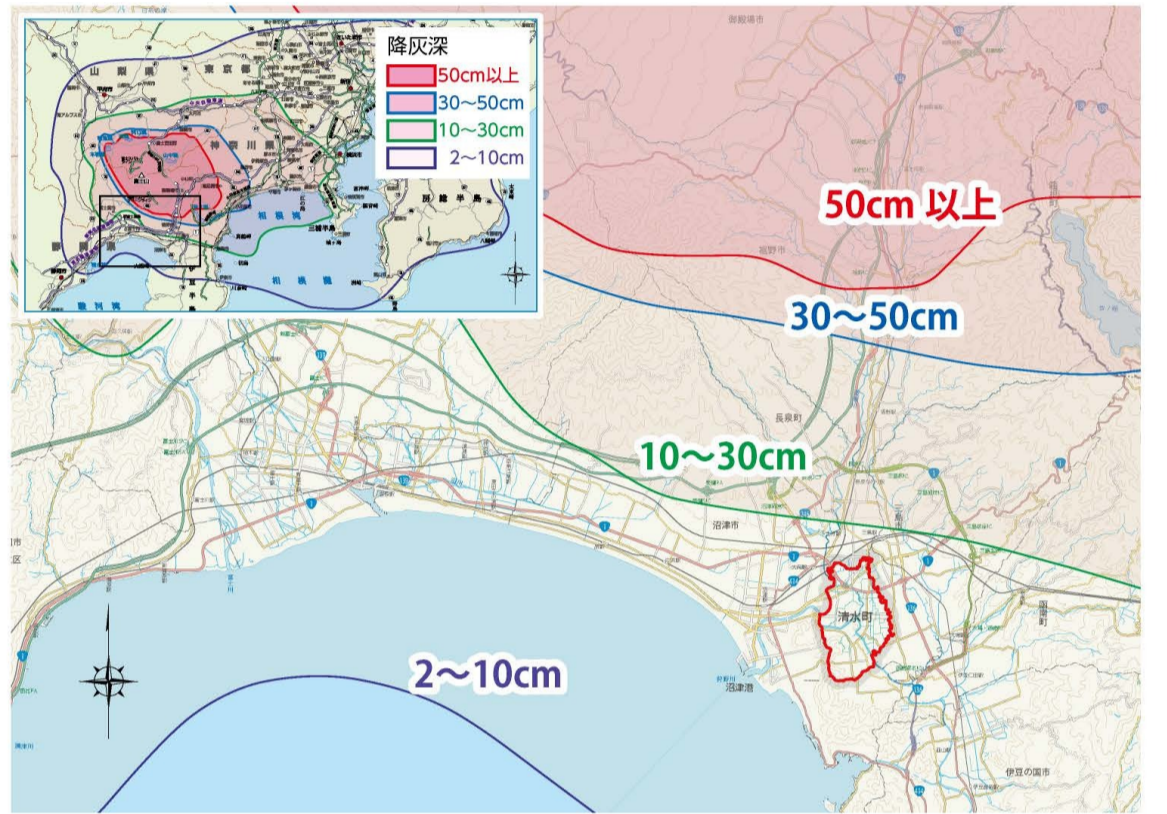
停電 (硝子の絶縁低下による停電可能性)

(微量)

鉄道 (地上の鉄道運行停止)

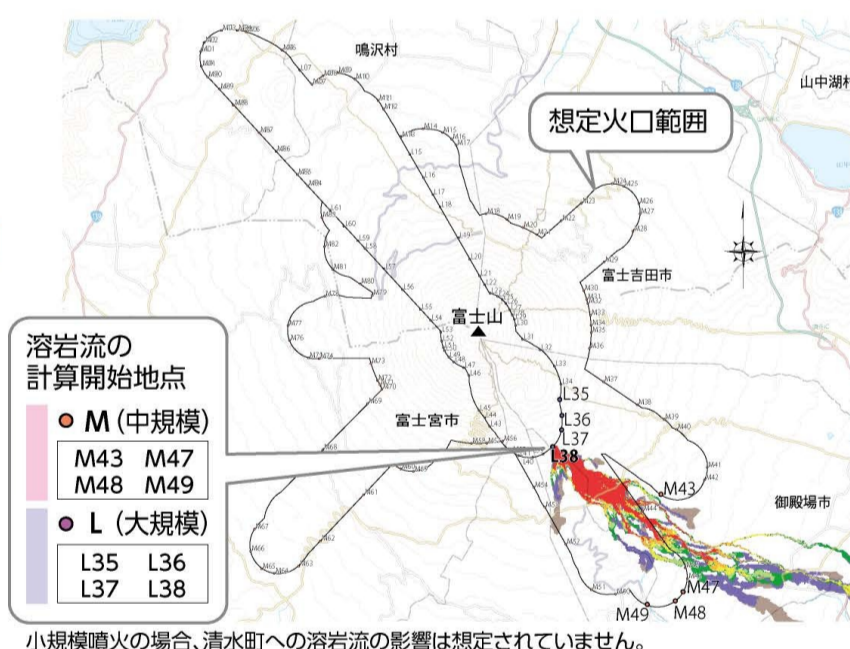
### 主な影響

- 健康被害：火山灰の吸入により、咳・喉の痛み・鼻炎などの呼吸器症状が発生し、ぜん息や基礎疾患を持つ人では症状が悪化するおそれがある。眼への付着で結膜炎や痛みが生じ、皮膚への付着で刺激症状が出ることもある。視界不良や滑りやすい地面により転倒・事故のリスクが増加し、屋外活動の制限が必要となる。
- 鉄道：微量の降灰で地上路線の運行が停止。大部分が地下の路線でも、地上路線の運行停止による需要増、車両・作業員の不足などにより運行停止や輸送力低下。停電エリアでは地上・地下路線ともに運行が停止。
- 道路：視界低下による安全通行困難、道路上の火山灰や交通量増などによる速度低下や渋滞。乾燥時10cm以上、降雨時3cm以上の降灰で二輪駆動車が通行不能。
- 物資：一時滞留者や人口の多い地域では、少量の降灰でも買い占めなどにより、店舗の食料、飲料水などの売り切れ。道路の交通支障による物資の配送困難、店舗などの営業困難により、生活物資の入手困難。
- 人の移動：鉄道の運行停止と道路の渋滞による一時滞留者の発生、帰宅・出勤などの移動困難。道路交通支障により、移動手段が徒歩に制限される。
- 電力：降雨時0.3cm以上で硝子の絶縁低下による停電。数cm以上で火力発電所の吸気フィルタの交換頻度の増加などによる発電量の低下。電力供給量の低下が著しく、必要な供給力が確保しきれない場合、停電に至る。
- 通信：利用者増による通信の遅延、切断。降雨時に、基地局などの通信アンテナへ火山灰が付着すると通信障害。停電エリアで非常用発電設備の燃料切れが生じると通信障害。
- 上水道：原水の水質が悪化し、浄水施設の処理能力を超えることで、水道水が飲用不適または断水。停電エリアでは浄水場及び配水施設などが運転停止し、断水。
- 下水道：降雨時、下水管路(雨水)の閉塞により、閉塞上流から雨水があふれる。停電エリアで非常用発電設備の燃料切れが生じると下水道の使用制限。
- 建物：降雨時30cm以上の堆積厚で木造家屋が火山灰の重みで倒壊のおそれがある。

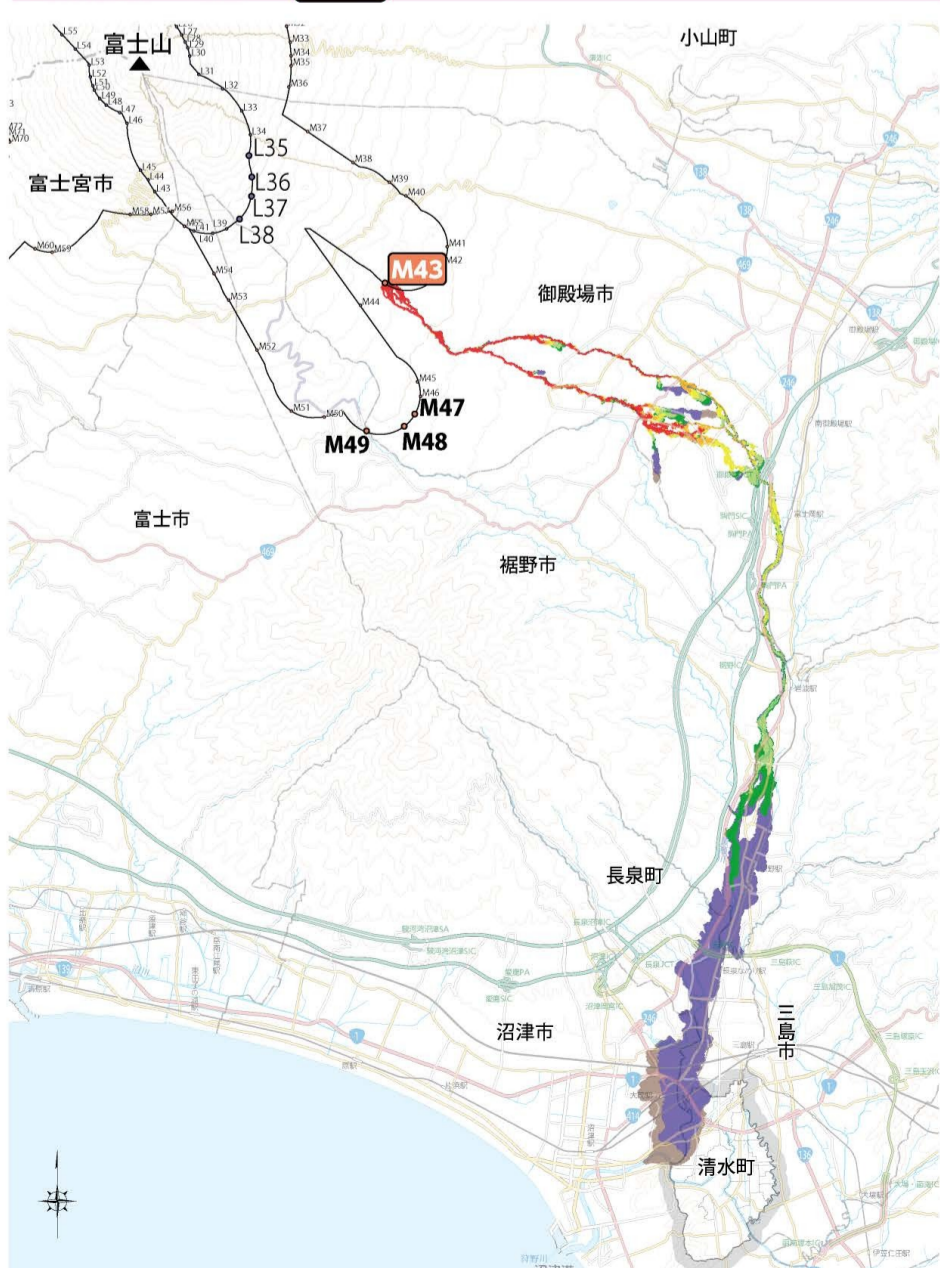


# 清水町に影響の可能性がある溶岩流シミュレーション(溶岩流ドリルマップ)

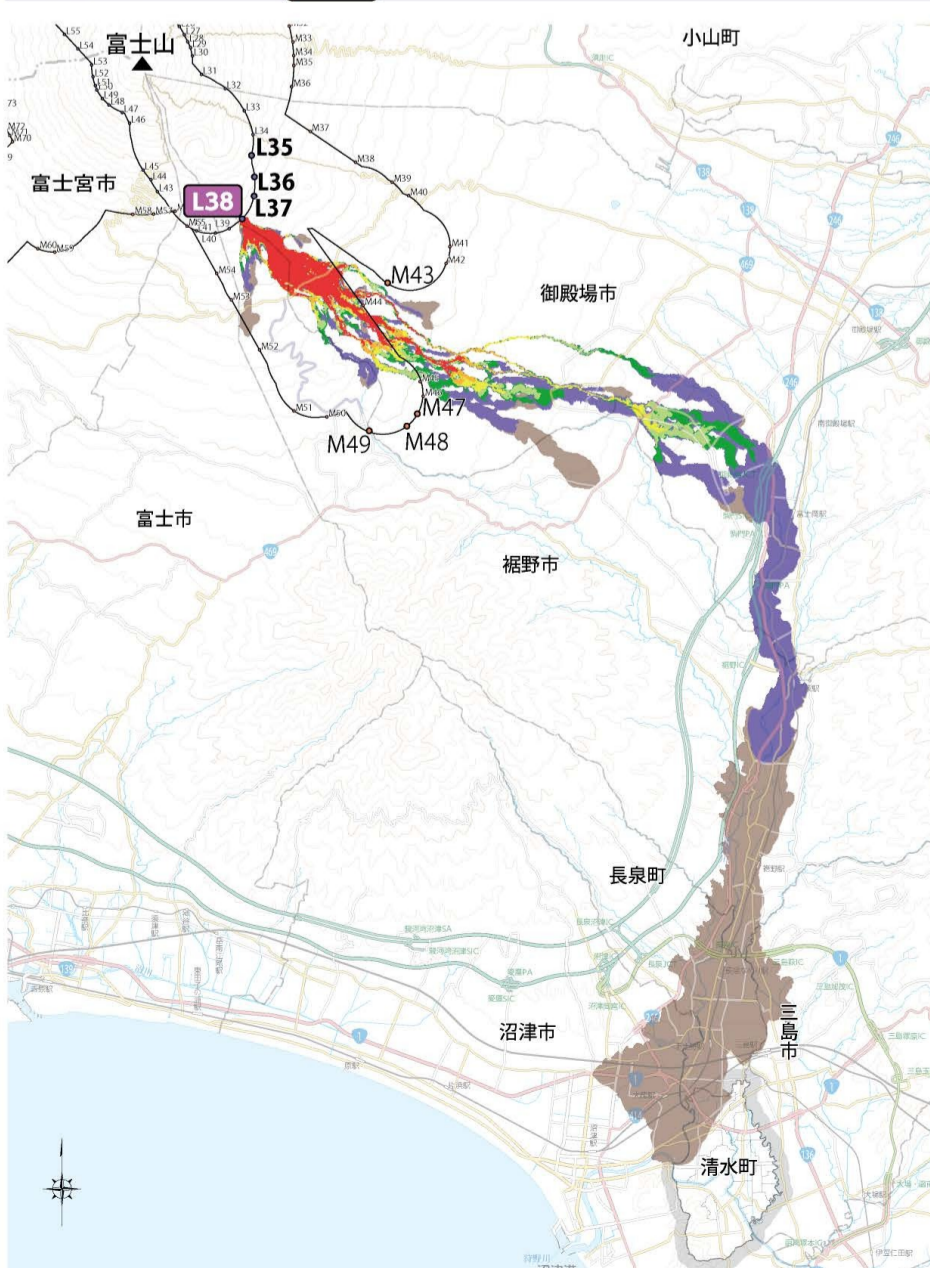
富士山の噴火する可能性のある場所は1か所ではありません。そのため、富士山全体で噴火する可能性がある火口・溶岩の流れ出る地点を調査し、噴火して溶岩が流れる252地点(計算開始地点)のシミュレーションが公表されました。清水町には252地点のうち8地点から溶岩が流れてくる可能性があると示されています。(M43, M47, M48, M49, L35, L36, L37, L38) 右図と2つの下図では、その8地点と特に影響範囲の広い地点を表しますが、一度の噴火で全ての地点から溶岩が流れるわけではなく、252地点のうちどこかの地点で溶岩が流れると想定されています。



## 中規模(4カ所) M43 (注)最も清水町への影響範囲が広い火口を載せております。



## 大規模(4カ所) L38 (注)最も清水町への影響範囲が広い火口を載せております。



# 情報収集の方法

町や報道機関などから正しい情報入手し、デマやうわさに惑わされないようにしましょう。

### 同報無線放送

屋外スピーカーから災害情報や避難情報をお知らせするものです。

同報無線が聞こえなかったとき  
もう一度、放送内容を確認したいとき

同報無線サービス  
055-973-0202

同報無線で放送した内容を電話で確認できる音声自動応答サービスです。(サービス利用には通話料がかかります)

### 清水町 防災アプリ

- 町同報無線の放送内容
- 災害情報
- 町の情報 など

iPhoneの人は  
こちら

Androidの人は  
こちら

### LINE 清水町 公式 LINE

情報収集ツールとしてご活用ください。災害などに関する緊急情報も配信します。

### 清水町 防災ラジオ

町内で放送される同報無線の情報を室内で聞くことができます。

AM・FM・同報無線が受信可能です。詳しい情報はこちら

### 清水町の防災情報(気象庁)

気象庁が提供する発表中の防災情報、雨雲の動き、天気予報、アメダス、地震情報などが閲覧できます。

### 静岡県の公式防災アプリ

iPhoneの人は  
こちら

Androidの人は  
こちら

# 家族に安否を知らせるために...

## 災害用伝言ダイヤル(171)

大規模な災害が発生した時に被災地域内やその他の地域の方々との間で「声の伝言板」の役割を果たすシステムです。「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。

### 伝言の録音方法

171 → 1

音声ガイダンスに従ってください。

055 - - - - -

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言を入れる (30秒以内)

### 伝言の再生方法

171 → 2

音声ガイダンスに従ってください。

055 - - - - -

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言を聞く

## 災害用伝言板(web171)

インターネットを利用した安否確認の伝言板です。パソコンやスマートフォン、携帯電話などで利用できます。 web171

### 利用方法

web171へアクセス  
https://www.web171.jp

被災地の人の電話番号を市外局番から入力

伝言を登録・確認